

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 音楽Ⅱ ナンバリング：2326	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：小澤俊太郎 瀬戸奏、浅見彩賀、鈴木順子、 田口葵己、西河由季、野本裕美子 担当形態：クラス分け、オムニバス
科目／系列	大学が独自に設定する科目／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>1. 生活の歌、季節の歌（秋・冬）必修課題曲の弾き歌いができる。 2. （ピアノ初心者）バイエル96番以上、（ピアノ経験者）3曲以上の楽曲を弾くことができる。 3. コールユーブンゲンを歌うことができる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>1. 合同授業 「音楽Ⅰ」で学んだ内容をもとに、ソルフエージュの力と正しい発声を身につけて「子どもの歌」の弾き歌いを習得する。 2. 個人レッスン 幼児教育、保育現場で必要とされるピアノ演奏の基礎技術と知識の習得を目指す。学生一人一人のレベル、能力に合わせてマンツーマンでレッスンを行う。</p>			
<p>授業計画</p> <p>授業30分のうち、45分を合同授業（担当：瀬戸）、45分を4クラスに分けて個人レッスン（担当：小澤、浅見、鈴木、田口、西河、野本）</p> <p>〈合同授業〉 第1回：オリエンテーション 第2回：ソルフエージュ① 正しい発声 第3回：ソルフエージュ② 正しい音程の取り方とは 第4回：ソルフエージュ③ コールユーブンゲンによる音程の取り方</p> <p>第5回：「子どもの歌」弾き歌い（生活の歌） 第6回：「子どもの歌」弾き歌い（季節の歌—秋） 歌詞の理解 第7回：「子どもの歌」弾き歌い（季節の歌—秋） 歌い方の指導 第8回：「子どもの歌」弾き歌い（季節の歌—冬） 歌詞の理解 第9回：「子どもの歌」弾き歌い（季節の歌—冬） 歌い方の指導 第10回：歌唱活動（アンサンブル） 音取り 第11回：歌唱活動（アンサンブル） 部分練習・パート練習 第12回：歌唱活動（合唱曲） 音取り 第13回：歌唱活動（合唱曲） 部分練習・パート練習 第14回：歌唱活動（合唱曲） 全体練習 第15回：歌唱活動（合唱曲） の発表 定期試験：実技</p> <p>〈個人レッスン〉 第1回：オリエンテーション 第2回～第15回：マンツーマンによるレッスン</p>		<p>授業時間外の学習</p> <p>〈合同授業〉</p> <p>コールユーブンゲン等課題曲の練習（1時間） 「子どもの歌」弾き歌いの練習（1時間） 「子どもの歌」弾き歌いの練習（1時間） 「子どもの歌」弾き歌いの練習（1時間） 「子どもの歌」弾き歌いの練習（1時間） 「子どもの歌」弾き歌いの練習（1時間） 歌唱アンサンブルの練習（1時間） 歌唱アンサンブルの練習（1時間） 試験曲の練習（1時間） 試験曲の練習（1時間） 試験曲の練習（1時間）</p> <p>〈個人レッスン〉 毎回のレッスンで課題となった曲の練習（1日15分以上、1週間に合計1時間以上）</p>	
<p>授業の方法 合同授業と個人レッスン（ピアノ実技指導）。合同授業では課題を行いフィードバック。個人レッスンでは一人ひとりの進捗、練習に合わせてフィードバック。</p>			
<p>テキスト</p> <p>個人レッスン 初級者は『バイエル』 既習者はレベルに合わせて選曲 合同授業 『改訂 学生のためのコールユーブンゲンとコンコーネ』 教芸音楽研究グループ編 教育芸術社 『こどのうた100』 小林美実監修 チャイルド社</p>			
<p>参考書・参考資料等 個人レッスンでは個人のレベルに合わせて曲を紹介する。</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>合同授業内での必修課題曲のマスター（30%）、小テスト（10%） 個人レッスンの受講態度（受講上の注意を守る）（20%）、 個人レッスンの課題の習熟度（個人カルテ配布）と実技試験（40%）</p>			
<p>履修上の注意</p> <p>自己学習の予習、復習が大変重要である。 特に、今までにピアノ学習経験のない学生は努力する必要がある。</p>			
実務経験の有無	有	実務経験	ピアノ講師
<p>実務経験を活かした教育内容</p> <p>ピアノ講師の経験を活かし、各学生の能力に沿って指導できるよう授業を行う。</p>			